

色彩・意匠学部会報

No. 16

発行日 2020年3月31日
 発行人 一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
 事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
 東京家政学院大学 現代家政学科 1704室(井澤)
 TEL:03-3262-2749 FAX:03-3262-2174(代)

《 2019年度総会報告 》

2019年5月25日(土) 四国大学(日本家政学会第71回大会会場)において、「2019年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い承認された。

議事

平成30年度事業報告

1. 総会

平成30年5月26日(土)
 日本女子大学(日本家政学会第70回大会会場)

2. 役員会

平成30年5月26日(土) 日本女子大学
 平成30年8月21日(火) 神戸松陰女子学院大学
 平成31年2月25日(月) 京都光華女子大学短期大学部

3. 連絡懇談会

平成30年8月21日(火) 神戸松陰女子学院大学

4. 平成30年度夏季公開セミナー

平成30年8月21日(火)、22日(水)
 会場: 神戸松陰女子学院大学512教室
 テーマ: 「デザインにみる地域性-ファッション都市神戸-」
 講演1 「神戸ファッションにおける『おしゃれ』のイメージ」神戸松陰女子学院大学 徳山 孝子氏
 講演2 「神戸タータンの誕生と今後の展望」
 神戸タータン協会会長 石田原 弘氏
 見学1 「帽子専門店マキシン」神戸トアロード本店
 見学2 「大家国際美術館」徳島県鳴門市

5. 情報交換会

平成30年8月21日(火) クッチーナ ラトリエ

6. 共同研究打ち合わせ

平成30年8月21日(火)

7. 平成30年度春季セミナー

平成31年2月25日(月)
 会場 京都光華女子大学短期大学部
 テーマ 『あじわい たのしむ 色とくらし』
 講演1 「伝統素材「漆」を現代に活かす-MR漆を使った新規利用分野の開拓-」
 講師 佐藤喜代松商店代表取締役 佐藤 貴彦 氏
 講演2 「菓子における色彩とにおひ」
 講師 公益財団法人有斐斎弘道館代表理事 太田 達 氏
 ~ティータイム「老松のお茶菓子」とともに~
 講演3 「復活した希少染色技法「マドレー染」の活用-ビジネス展開に向けて」
 講師 京都女子大学家政学部 青木 美保子 氏

平成30年度 決算報告

平成30年4月1日-平成31年3月31日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	136,545	通信運搬費 (切手代、電話代等)	17,315
平成30年度部会費 (次年度分含む)	29,000	消耗品費	0
セミナー会費	279,100	印刷費	0
助成金(本部より)	136,610	会議費	1,548
松蔭女子大より	40,000	HP使用料	5,466
学会経費補助	8	セミナー開催費	460,058
雑収入	8	支払い負担金 (振込み手数料等)	0
財務活動支出 (定期預金)	90,118	雑費	0
		財務活動支出 (定期預金)	90,126
		次年度繰越金	136,868
合計	711,381	合計	711,381

以上の報告通り相違ありません。

監事 武井 玲子 印 (2019年4月1日)

橋本 令子 印 (2019年4月1日)

2019年度事業計画(案)

1. 総会

2019年5月25日(土)
四国大学(日本家政学会第71回大会会場)

2. 役員会

2019年5月25日(土) 四国大学
2019年8月21日(水) 椋山女学園大学
2019年2月28日(月) 東京家政学院大学

3. 連絡懇談会

2019年8月21日(水) 椋山女学園大学

4. 2019年度夏季セミナー

2019年8月21日(水)・22日(木)
椋山女学園大学他

5. 情報交換会

2019年8月21日(水)(夏季セミナー開催時)

6. 共同研究打ち合わせ

2019年8月21日(水)(夏季セミナー開催時)

7. 2019年度春季セミナー

2020年2月28日(金) 公開講演会
東京家政学院大学、見学会：迎賓館赤坂離宮

2019年度役員構成

部会長：井澤尚子
副部会長：花田美和子、難波めぐみ
常任委員：
＜監査＞武井玲子、石原久代
＜庶務＞小町谷寿子、難波めぐみ
＜会計＞内藤章江、鳥海薫、佐々木由美子、
(事務局：井澤尚子)
＜会報＞戸田賀志子、稲垣有美子
＜夏季セミナー＞石原久代、小町谷寿子
鷲津かの子
＜春季セミナー＞井澤尚子、鳥海薫
内藤章江
＜共同研究＞石原久代、畑久美子、井澤尚子
＜ホームページ＞鷲津かの子、熊田亜矢子
＜顧問＞芦澤昌子、橋喬子、橋本令子

2019年度 総会議事録

日時：2019年5月25日(土)
13時00分～13時30分
場所：四国大学 O会場 中央棟4階
司会：副部会長 花田美和子
出席者数：部会員11名、委任状11名

2019年度予算

2019年4月1日 ～2020年3月31 日収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	136,868	通信運搬費	10,000
2019年度部会費	28,000	消耗品費	5,000
セミナー等会費	430,000	印刷費	3,000
		会議費	2,000
		ホームページ 関連費	5,466
		セミナー等開 催費	430,000
		雑費	1,000
財務活動支出 (定期預金)	90,126	財務活動支出 (定期預金)	90,126
		次年度繰越金	138,402
合計	684,994	合計	684,994

I. 開会の辞

花田副部会長より開会の辞が述べられた。

II. 部会長挨拶

井澤新部会長より挨拶がなされた。

III. 議長選出

議長に花田副部会長が選出された。
会議に先立ち出席者・委任状の数が確認され、定足
数に達し、本総会が成立する旨が報告された。

IV. 議事

第1号議案 平成30年度事業報告承認に関する件
小町谷委員から平成30年度の事業報告があり承認さ
れた。
第2号議案 平成30年度会計報告承認に関する件
内藤委員から平成30年度の会計報告があり承認さ
れた。
第3号議案 平成30年度会計監査報告
小町谷委員より、武井・橋本監査による平成30年度
の会計監査報告が代読された。

第4号議案 2019年度事業計画(案)承認に関する件
小町谷委員から2019年度事業計画(案)が報告され、承認された。

第5号議案 2019年度予算(案)承認に関する件
内藤委員から2019年度の予算(案)が報告され、下記変更点が示され承認された。

1) 定額預金を解約する。2) 予算(案)記載内容変更(財務活動支出+次年度繰越金合算)

第6号議案 その他

井澤部会長より、2019年度、2020年度役員について報告された。

V. 2019年度部会研究について

井澤部会長と石原委員から現在進められている2つの部会研究についてそれぞれ進捗状況と今後の展開について報告された。井澤部会長を通信とした「ファッション用語と色彩の関係性について」今後も継続発表していく予定である。石原委員が中心となっている「アパレル分野における色彩調和について」は論文としてまとめていく予定である。

VI. 2019年度夏季セミナーについて

石原委員より、2019年度夏季セミナー(案)について詳細な説明がされた。

VII. 2019年度春季セミナーについて

井澤部会長より、開催日を2月末の週とし、内容については、今後更に検討していくことが報告された。

VIII. その他

井澤部会長より「色彩・意匠学部会記念誌」送付に対して、前部会委員(成田巳代子先生、斉藤祥子先生、吉田千恵子先生)より御礼上が届いたとの報告がされた。

また、鷲津委員より、部会タイトル修正について報告があった。「色彩意匠学部会」→「色彩・意匠学部会」

IX. 閉会の辞

花田副部会長より閉会の挨拶がなされた。

《 夏季セミナー報告 》

2019年度 日本家政学会色彩・意匠学部会の公開講演会ならびに第41回夏季セミナーが2019年8月21日(水)・22日(木)に2日間の日程で開催された。今回はセミナーテーマを「東海地域の伝統文化の色彩と意匠」と題し、公開講演会、見学会を企画した。公開講演会の参加者は合計97名であった。

第1日目の公開講演会は椋山女学園大学を会場に、3名の講師をお招きして行われた。東海地域に伝わる伝統芸能、伝統技術の色彩と意匠に関わる内容を取り上げ、芸どころ名古屋に伝わる能や狂言の装束、岐阜地区の鶺鴒の鶺鴒匠の装束、伝統技術の美濃和紙についてお話を伺った。会員に加え、学生の参加も多く、好評であった。東海地域の伝統文化についての知見を深め、今後のアパレル教育と文化の継承に役立つと考えられる。第2日目の見学会は、名古屋駅に集合し、全行程貸し切りバスを使用して、関市や美濃市など東海地域の伝統的な技術について多用な視点から見学することができ、紙すき体験も行った。

<プログラム内容>

●8月21日(水) 公開講演会

会場：椋山女学園大学星が丘キャンパス

12:30～ 受付

13:00～13:05 開会の挨拶

13:10～14:20 講演1「日本の伝統芸能と色彩」

伝承文化研究センター所長

元名古屋女子大学教授 林 和利 氏

14:30～15:40 講演2「美濃和紙の歴史、技術と展開」

岐阜県産業技術総合センター

繊維・紙業部 主任専門研究員

佐藤 幸泰 氏

15:50～16:30 講演3「長良川鶺鴒の鶺鴒匠装束」

岐阜大学教育学部教授

夫馬 佳代子 氏

19:00～ 情報交換会

●8月22日(木) 見学会

9:00 名古屋駅集合(全行程貸し切りバス使用)

フェザーミュージアム(岐阜県関市)、刃物会館(岐阜県関市)、うだつのあがる町並み(岐阜県美濃市)

美濃和紙の衣服見学、あかりアート館など、各自昼食、美濃和紙の里会館(岐阜県美濃市)見学、紙すき体験など

16:30 名古屋駅解散

1) 講演1

「日本の伝統芸能と色彩」

講師：伝承文化研究センター所長

元名古屋女子大学教授 林 和利 氏

現存する日本の伝統芸能の主なジャンルには、舞楽(雅楽)・平曲・能・狂言・歌舞伎(およびその系統の日本舞踊)・人形浄瑠璃(文楽)・落語・講談などがある。愛知・岐阜・三重の東海3県に限定して見渡してみても、奥三河の花祭を筆頭に、根尾の能郷猿楽、桑名の伊勢大神楽、田峯や黒沢の田楽、真桑人形浄瑠璃など、たくさんの無形民俗文化財を挙げることができる。この地域は我が国の伝統芸能の宝庫と言っても差し支えないであろう。そんな日本の伝統芸能における色彩について、能・狂言を対象にして色彩の問題を考え、その比較において、歌舞伎その他のジャンルを引き合いに出すという形で色彩豊かな豊富な資料をもとにお話し頂けた。総論として能・狂言において神聖視されている「白」と祝言性を象徴する「緑」の重要性が導き出された。



公開講演会の様子 於：椋山女学園大学

2) 講演2

「美濃和紙の歴史、技術と展開」

講師：岐阜県産業技術総合センター繊維・紙業部
主任専門研究員 佐藤 幸泰 氏

美濃和紙の歴史は、製紙技術の伝来から～1300年の歴史がある。平安では戸籍として、特権階級(貴族、僧侶)のみが使用することができる貴重なものであった。鎌倉、室町から、武士にも使うようになり、安土桃山、江戸では、町民文化が花咲き、紙衣が作られるなど多様な形でさらに普及していった。近代(明治、大正)では、最盛期を迎え、機械製紙台頭によって現代において手すき和紙の需要が減っている現状がある。昭和に入り、県製紙株式会社、昭和44年重要無形文化財「本美濃紙保存会」、平成19年には「美濃和紙ブランド組合」の設立により地域ブランド化が推進され、平成26年ユネスコ無形文化遺産に登録された。日本の伝統的な和紙作りについての技術と特性について様々な視点からお話を伺うこ

とができた。

3) 講演3

「長良川鵜飼の鵜匠装束」

講師：岐阜大学教育学部教授 夫馬 佳代子 氏

長良川鵜飼は、鵜匠が鵜舟から鵜を操り、鮎漁として行う伝統文化であり、古くからの漁労文化を今日まで継承している。また、長良川鵜飼は皇室御用鵜飼であり、獲れた鮎は皇居へ献上され、明治神宮や伊勢神宮にも奉納される。長良川鵜飼の鵜匠は、正式な職名として宮内庁式部職鵜匠に任命され、六つの屋号の鵜匠家により、代々男子のみの世襲として受け継がれてきているのが特色でもある。今回テーマとされた鵜匠装束とは、長良川鵜飼において鵜匠のみが着用できる装束のことであり、今日では見られなくなった独自の衣服形態を保持している。こうした装束の形態を保持するためには、どのような技術が伝承されているか。製作技術の一つの文化の伝承として捉え、技に込められて作り手である鵜匠のこだわり(製作技術の特徴、製作に用いる材料、鵜匠装束の作り手)について貴重なお話を伺えた。

また、情報交換会では、岐阜市長良川の鵜飼で、講演会で説明していただいた「こだわりの装束」に注目しながら巧みな鵜匠の技を見学した。

4) 見学会

名古屋駅からバスで移動し、岐阜県関市では刃物会館や新しくできたフェザーミュージアムを見学、伝統的な刃物の技術への知見を深め、最新のメスなどを見ることができた。岐阜県美濃市では、うだつの上がる街並みを見学し、和紙専門店や和紙を使ったアパレル製品、あかりアート館などを見学した。美濃和紙の里会館では、美濃和紙の歴史や引き継がれる人々の思いを学び、紙すき体験では、自分の好きなところに紅葉の葉をあしらったオリジナル和紙を制作し、均等な紙を作る難しさや手すき和紙の美しさを実感した。



紙すき体験



フェザーミュージアムにて

1日目の夕方より大雨となり心配でしたが、船宿で待った甲斐があり涼しい中で鵜飼をみながら情報交換会ができた。また、翌日には晴天に恵まれ、うだつのあがる町なみを見学した。多くの皆様が夏季セミナーにご参加いただき、ありがとうございました。お世話になりました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(夏季セミナー実行委員一同)

《 お知らせ 》

2020年度 色彩・意匠学部会 第42回夏季セミナー

2020年度夏季セミナーは、下記の通り開催いたします。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

期 日：2020年9月1日(火)、2日(水)

会 場：広島女学院大学(広島市東区牛田東4-13-1)

テーマ：生活の中の色彩とデザイン

〈プログラム〉

9月1日(火) 13:00~16:20

公開講演会

1. 『もうひとつの木の家』

広島女学院大学人間生活学部教授 細田 みぎわ氏

2. 『製品価値と色彩の関係性』色彩生活コーポレーション株式会社

プランニングマネージャー 小澤 真紀子氏

3. 『自動車のカラートレンド 2020-新たな価値創造と、自動車の色彩。』色彩生活コーポレーション株式会社 代表取締役 柏尾 浩一郎氏

9月2日(水) 9:00~16:00

見学会

広島城、原爆ドーム、平和記念公園、厳島神社、
杓子づくり体験

申し込み・問い合わせ先:

広島女学院大学 人間生活学部

生活デザイン学科 熊田 亜矢子

TEL 082-555-8123 (直通)

E-mail kumada@gaines.hju.ac.jp

◇ 詳細は、後日案内をさし上げます。

色彩・意匠学部会 ホームページ

平成22年度より、色彩・意匠学部会のホームページを開設しております。セミナーなどへの参加申し込み方法や部会における取組の紹介やイベント情報、会報のバックナンバーなどを掲載しています。是非ご覧ください。

色彩・意匠学部会ホームページ URL

<http://shikisai-isyou.sakura.ne.jp/index.html>

色彩・意匠学部会規約

第1章 総則

第1条 本会は、一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会とする。

第2条 本会は、一般社団法人日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

1. 部会総会
2. 部会セミナー
3. 部会講習会・見学会
4. 部会研究会
5. 会報・成果の印刷物頒布
6. その他、本会にて必要と認める事業

第4条 事業は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとす。

なお、本会の事業計画・事業報告は、学会理事会に報告するものとする。

第3章 会員

第5条 本会は、次の構成員で組織する。

1. 正会員 原則として日本家政学会会員で、色彩・意匠学領域に関連する研究・教育に携わる者

2. 学生会員 色彩・意匠学領域に関心を持つ学生

第4章 役員

第6条 本会の運営を円滑にするために、次の役員をおく。

1. 部長 1名
2. 副部長 2名
3. 常任委員 20名以内
4. 監事 2名
5. 顧問 若干名

第7条 部長の選任、解任は次の通りである。

1. 部長は、日本家政学会会員に限る。
2. 部長の選任は、本会会員の互選によって選出し、部会総会にて報告承認を行い、学会理事会において承認を受ける。
3. 部長の解任は、総会にて行い、学会理事会において承認を受ける。
4. 部長が解任された場合は、前任者の残任期間は他の役員が職務を代行する。

第8条 副部長・常任委員・監事・顧問は、会員の互選によって選出し、総会にて承認、また、解任は総会にて行い、残任期間は他の役員が職務を代行する。

第9条 役員の任期は2年とし、再選をさまたげない。

第10条 役員の職務は次の通りとする。

1. 部長は、本会を代表し、会の運営を統括する。
2. 副部長は、部長を補佐する。
3. 常任委員は、本会の業務を遂行し、必要に応じて業務を分担する。
4. 監事は、本会会計の監査を行う。
5. 顧問は、必要な助言を行う。

第5章 総会

第11条 本会の総会は、原則として一般社団法人日本家政学会の年次大会時に開催する。また、適宜臨時総会を開催することができる。

第6章 会費

第12条 本会の会費は、年額千円とする。

第7章 会計

第13条 本会の運営経費は、会費による。

第14条 会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の予算・決算報告は、学会理事会に報告するものとする。

第8章 規約の変更

第15条 部会規約の変更は、総会の議決による。本規約の変更は、総会において承認を受け、理事会に報告する。

第9章 事務局

第16条 本会の事務局は、庶務責任者または会計責任者の所属する機関内におく。

〔付則〕

この規約は、昭和53年4月1日より施行する。

この規約は、昭和58年8月26日より施行する。

この規約は、平成元年8月22日より施行する。

この規約は、平成15年8月28日より施行する。

この規約は、平成22年5月1日より施行する。

この規約は、平成25年5月18日より施行する。

申し合わせ事項

1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。（付2）
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。

(付1)：部長連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代生活学部現代家政学科

井澤尚子

TEL：03-3262-2749

e-mail：isawa@san.kasei-gakuin.ac.jp

(付2)：事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室 井澤尚子

(部会費振込み先)

※2020年4月に「ゆうちょ銀行総合口座」を開設しました。
今年度から次の口座番号に部会費をお振込みください。

〈ゆうちょ銀行から振込みの場合〉

記号：11330

番号：20334741

なまえ：シキサイ イショウガクブカイ

〈他金融機関から振込みの場合〉

店名：一三八（読み イチサンハチ）

店番：138

預金種目：普通預金

口座番号：2033474

口座名：シキサイ イショウガクブカイ

<編集後記>

皆様のご協力のもと会報の発行に至りました。本年度も大変貴重なセミナーを開催して頂き特別な体験と学習を致す事が出来ました。先生方に感謝申し上げます。楽しみに致しておりました春季セミナーが新型コロナウイルス拡大懸念で中止となりました。猛威を振るう新型コロナウイルス、肺機能に対する対策としてブルーが良いとドイツのドクターからメールが届いております。ブルー（ターコイズ）を意識して深呼吸してみてください。（担当：稲垣、戸田）